

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立長谷川羽曳野学園（児童心理治療施設）
施設所管課・担当	こども青少年局こども家庭課要保護児童グループ
条例上の設置目的	児童福祉法第43条の2に基づき児童心理治療施設を設置するもの
業務の概要	児童養護施設の管理運営及び児童心理治療施設の管理運営
成果指標	①退所児童の家庭復帰後半年間の現況把握率 ②苦情解決第三者委員会による苦情解決率
目標	①100% ②100%
指定管理者名	（社福）みおつくし福祉会
指定期間	平成31年4月1日～令和9年3月31日（8年間）
評価対象期間	令和4年度分

2 管理運営の成果・実績

成果指標	①	②
数値目標	100%	-
年度実績	100%	-
達成率	100%	-

利用状況（各年度3月1日時点）

	前年度	4年度	前年度比
利用人数	36	38	2
稼働率	90.0%	95.0%	5.0%

3 収支状況

収入		4年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	308,385,308	300,588,707	-1,862,692	入所児童数の減による
	計画	310,248,000	289,007,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	1,495,916	1,707,416	1,495,916	寄付金収入の増
	計画	0	0		
合計	実績	309,881,224	302,296,123	-366,776	入所児童数の減による
	計画	310,248,000	289,007,000		

支出		4年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	212,217,703	194,859,273	212,217,703	
	計画				
管理運営費	実績	71,170,214	77,287,277	71,170,214	
	計画				
その他事業費 （自主事業支出）	実績			0	
	計画				
合計	実績	283,387,917	272,146,550	283,387,917	
	計画	0	0		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価

(1) 成果指標の目標達成状況

評価項目	市の評価	特記事項
①	B	自立支援担当職員を配置し、適切に対応されたことにより、目標を達成している。
②	—	対象件数はなかった。

(2) 市費の縮減

市費縮減に係る取組状況	市の評価	特記事項
児童入所施設等措置費の基準に基づき業務代行量を支出しており、市費縮減については不可能	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	市の評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービス向上		
施設の管理運営	A	施設の老朽化が進んでいるが、日常的な点検整備を欠かさないことで、入所者の安全に配慮されており、予防保全にも十分取り組んでいただいている。 併せて、措置費における加算職員等、処遇向上のための職員加配に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
施設の維持管理		
職員の配置状況		
安全管理		
市民サービスの向上	A	平成31年度に直営から指定管理制度へ移行した施設であり、初年度は児童の入所実績も低調であったが、2年度以降は積極的な受け入れを推進し稼働率も向上している。
利用者満足度調査		
サービス向上策の実施 利用促進策の実施		
事業計画の実施状況	B	児童入所施設運営として適切かつ良好である。
事業の実施状況		
施設の有効活用	B	同種別の施設や、同圏域内施設との連携を通じて職員のスキルアップに努めたり新たな情報確保に努めるとともに、地域子ども会への参画など果たすべき役割を担っている。
地域との連携 他施設との連携		
社会的責任・法令遵守	B	適切かつ良好である。
勤務労働条件の確保		
個人情報保護対策		
環境への配慮 就職困難者の雇用		

5 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決について、こどもの意見表明権の保障という点からも意見箱の設置だけでなく、意見聴取する機会のさらなる確保に努めてもらいたい。 ・苦情として正式にあがらなくても、こどもたちの気持ち・希望・不満等、いろんなものが日々あふれているはずである。国も「アドボカシー」の仕組みを創ろうとしているが、日々こどもの声や思いを拾い上げる実践と、「こどもの希望の実現」「こどもの不満の解消」などのような指標も検討してもらいたい。 ・社会的養護の分野では公費の拡充が行われているが、今後こどもの生活をより豊かなものにするや職員の専門性向上に努めていく必要があると思われる。児童心理治療施設は、特に専門性を有する施設として期待されているため、今後もぜひ研鑽に努めて頂きたい。 ・現況把握率が100%であるのは評価できる。今後もアフターケアの充実に努めてもらいたい。 ・管理運営において職員を積極的に雇用し、加算職員を多く配置している点は評価できる。職員の振り返りやモチベーションアップにつながる職員研修など工夫をしながらスキル向上につなげてもらいたい。
--

令和4年度 指定管理者年度評価シート

6 総合評価

評価項目	評価	所見
成果指標の目標達成	B	目標達成している。
市費の縮減	B	児童入所施設措置費を運営財源としているため、市費縮減は不可能である。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	A	対応が困難な児童も積極的に受け入れ、関係機関との連携を図るとともに、入所児童に対する対応も工夫をされている。今後は、研修等を通じたこどもの人権意識の醸成と併せて、こどもの意見表明権の保障にも努めていただき、こどものニーズに合わせた事業運営を期待したい。
施設の管理運営		
市民サービスの向上		
事業計画		
施設の有効活用		
社会的責任・市の施策との整合	B	適切かつ良好である。
総合評価	B	